

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年 12月 26日

- 会長 上田 正義
- 幹事 小川 芳男
- 会報委員長 杉原 巨峰

大東ロータリー会長テーマ

「今を生きる、そして未来につなげる」

2013年～2014年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を

国際ロータリー会長
ロン・D・バートン

平成 26年 6月 3日

No.2250 H26.5.27(No.2249の例会記録)

今週の卓話 (6月3日)

「 雑 感 」

池田 實 会員

次週の予定 (6月10日)

「今年度の実績報告と反省」

各奉仕委員長

先週の例会報告

◆ 出席報告 (5月27日分)

会員数 42名 出席数 33名 欠席者 1名
特定免除 7名 その他免除 1名
出席率 97.71%

前々回 5月13日分

ホームクラブの出席者 32名 91.18%
メイクアップの結果 34名
特定免除 6名 その他免除 1名
欠席者 1名 修正出席率 97.14%

今月のテーマ

「ロータリー親睦活動月間」

ロータリーソング

「それでこそロータリー」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

- ・例会出席ありがとうございます 感謝 上田 正義 君
- ・福富先生 各種検査ありがとうございます 感謝 小川 芳男 君
- ・すっかり気分も楽になりました 感謝 谷中 清孝 君
- ・中嶋さん、副議長ありがとうございます 感謝
- ・ネクタイ忘れてきました
- ・メイクアップなし 中原 毅 君
- ・次週クラブ協議会宜しくお願います 高島 登 君
- ・会議欠席すみませんでした 橋本 正幸 君
- ・京都に行って来ました 佐藤 多加志 君
- ・初めてLCC(ローコストキャリア)の
ビーチに乘りました 感謝 木村 克己 君
- ・28会コンペで優勝させていただきました
ありがとうございました 感謝 中野 秀一 君
- ・杉原会員 DVD有難うございました 東村 正剛 君
- ・田川会員お世話になります 感謝
- ・ニコニコ皆様ありがとうございます 感謝 東野 喜次 君
- ・池田さんありがとうございます



皆さんこんにちは、例会出席ありがとうございます。
5月最後の例会です。紫陽花の花が美しく咲いております。犬と散歩の道すがら紫陽花の花や田植えの準備が出来ている田んぼを見ますと、職業柄でしょうか「もうすぐ菜種梅雨の時期か」と感じた日曜日でした。
5月22日市民会館で平成26年度四條畷警察署管内「交通事故をなくす運動」推進本部総会に出席してまいりました。大東市・四條畷市両市あげての交通事故撲滅を目指す事を改めて願う総会でした。



本日は、私事で恐縮ですが、毎年発表を楽しみにしております「サラリーマン川柳」ですが、今年も思わず笑ってしまう素晴らしい川柳が発表されましたので、既に見られた方もあるかと思いますがご披露させていただきます。なるほどと共感される川柳・時代の流行を取入れられた川柳などがあります。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1位 うちの嫁 後姿は「ふなっしー」 | 共感しますネ |
| 2位 物忘れべんりな言葉「あれ」と「それ」 | よく使いますヨ |
| 3位 妻不機嫌 お米と味噌汁「お・か・ず・な・し」 | おもてなし期待できず |
| 4位 帰宅して うがい手洗い「皿洗い」 | 亭主なんと思っているのか |
| 5位 おもてなし 受けてみたいがあてもなし | 寂しいですね |
| 6位 「イイね」には「どうでもイイね」約5割 | 奥さんによく使う言葉ですネ |
| 7位 やられたら やり返せるのは「ドラマ」だけ | 現実は厳しい |
| 8位 「オレ・オレ」に爺ちゃん一喝「無礼者」 | 爺ちゃん強し |
| 9位 いつやるの？ 聞けば言い訳「倍返し」 | 妻強し |
| 10位 「ワンコ」より安い飯代「ワンコイン」 | 侘しいデスネ |

以上1位～10位までの作品です。その他に気に入った作品がありますのでご紹介します。

「倍返し 言えずに今日もおもてなし」 「新人に任せた仕事が倍返し」

「オレの部下 半沢みたいな奴ばかり」 「上司など妻に比べりやまだあまちゃん」

人生てしんどいけれど楽しいや。みんな一緒や。嫁はん怖いのは家庭円満の証拠。みんなガンバッテいるいるんや。何につけても楽しく生きていく強さを毎年川柳からもらいます。昔から「笑うかどに福来る」とよく言われますがその通りだとおもいます。笑えば病も飛んでいきます。暗い顔より明るい顔です。腹が立つたら笑いましょう。大きな声で喋りましょう。内緒話にならないからです。くよくよ悩む前に行動を起こしましょう。そうすればおのずから物事は解決します。

会員の皆様、本日より新たに元気でロータリーを楽しみましょう。

これで会長の時間終わります。ありがとうございました。





◎ロータリー財団委員長

木村 克己 委員長

地区の福家ガバナーよりポリオに対するコメントが届いております

ロータリーのポリオ撲滅活動について
～WHO 緊急事態宣言を受けて～

国際ロータリー第 2660 地区ガバナー 福家 宏

*GPEI Global Polio Eradication Initiative 世界ポリオ撲滅推進計画

*IMB Independent Monitoring Board (ポリオ)独立監視委員会

*CDC Centers for Disease Control and Prevention (米国)疾病対策管理センター

1985 年以来、国際ロータリーは地球上からポリオを撲滅するための活動を続けて参りました。ロータリーの働きにより WHO、国際ロータリー、ユニセフ、CDC より成る GPEI が組織され、ポリオ撲滅活動が進められて来ました。そしてポリオ常在国は 1985 年に 125 カ国だったのが、2012 年には 3 カ国にまで減少しました。2009 年に世界の半数を抱えたインドはその後わずか 2 年でポリオ制圧を果たしました。昨年 194 件の発生があったソマリアでは、今年は 1 件も発生を見ていません。私たちはこのようなことを十分に念頭に置いて、5 月 6 日の WHO の発表を読む必要があるだろうと思います。発表は下記の通りです。

【日本経済新聞】2014 年 5 月 6 日

～ポリオ感染が拡大 WHO、緊急事態宣言（パキスタンなど 10 カ国で）～

世界保健機関（WHO）は 5 日、パキスタンやシリアなど 10 カ国でポリオ（小児まひ）の感染が拡大傾向にあり、国境を越えて広がるケースも出ているとして「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言、各国に予防接種の徹底など警戒を呼び掛けた。

WHO が公衆衛生上の緊急事態を宣言したのは、豚インフルエンザの大量感染があった 2009 年 4 月以来。

WHO によると、2013 年のポリオの感染者は世界で 417 人。今年は既に 74 人が感染し、うち多くがパキスタンでの感染という。

今年に入り、パキスタンからアフガニスタン、シリアからイラク、カメルーンから赤道ギニアに国境を越えて感染が広がるケースがみられた。

WHO は「このままではポリオ根絶は失敗に終わる」と警告、国際社会が連携して問題に取り組むよう訴えた。

ポリオは口から感染するポリオウイルスが神経を侵し、手足などがまひする病気で、乳幼児がかかることが多い。【共同】

私たちロータリアンは世界をリードして高い山の 9 合目よりもまだ高いところまでこぎつけました。頂上すなわちポリオ根絶までもう一息のところまで来たのです。

私たちは WHO の発表に対して戦意を喪失してはなりません。頂上を目前にして引き返すわけには参りません。最後の詰めを阻害しているものは、紛争と貧困です。これから先の道は一段と険しくはありますが、険しければ険しいほど私たちは底力を発揮して、頂上に到達すべきではないでしょうか。

私は専門的なポリオの調査チーム、IMB からの毎月の調査報告から目を離すことなくフォローしたいと考えております。また、今年 7 月 2 日開催のロータリー財団地域財団セミナーにおいて、科学的データに基づく WHO やロータリー財団の見解が発表される筈であります。この見解については次の機会に何かの形で皆様に必ずお知らせを致します。

どうか皆様には、ポリオ発生を残り 1%にまで減少させた私たちロータリアンの絶大な力と努力に誇りを持って頂き、更なるポリオ撲滅に向けてご協力下さいますよう切にお願い申し上げます。





「 大東ロータリークラブ中長期ビジョンと現状打破について 」

会長 上田 正義



この度、通常卓話を変更させていただきまして緊急卓話に替えさせていただきました事、会員諸兄の皆様方にご不審を抱かせました事お詫び申し上げます。また本日卓話担当の東村正剛会員には早くからゲストを準備していただいております急遽変更になりました事お

詫び申し上げます。では本題にはいります。

大東ロータリークラブの現状

当クラブは今年で46年を迎え創設から現在に至るまで諸先輩のご尽力で輝かしい歴史が受け継がれております。1967年（昭和42年）12月26日チャーターメンバー24名で仮クラブとして発足し、翌年1968年（昭和43年）1月24日国際ロータリーより正式加盟の認証をうけ現在に至っております。ここまでの道のりは大変なご努力の下であったかと思われます。そして1989年（平成1年）には会員数が71名までになるクラブになりました。しかし時代が進むと共に2004年（平成16年）50名台になり2008年（平成20年）には40名台になり現在会員数は40名が現状であります。時代の推移と共にロータリーを取り巻く社会状況の変化等が会員数の減少の原因の一つと考えられます。その他に現代の日本の大きな問題であります少子高齢化とも関連すると思いますが、当クラブも会員の高齢化が進んでおります。年齢構成を見ますと、60歳台から上の会員構成は23名57.5%になります。50歳台を入れますと33名82.5%まで上がります。全世界のロータリー会員数を見ても増えておらず現状維持か或いは減少の方向に進んでおります。ロータリー基本精神は変えてはなりません、時代の思考変化・ニーズ・運営方針に柔軟にそして速やかに対処する時がきているかと思われます。会員増強・財政・事業継続・委員会構成等など当クラブも中長期に対処すべき事項が昨今多数見受けられますので会員諸兄の御意見を承りたく今回の卓話のお時間をお借りしました。





これらの事項は其々関連していますが、個々にお話したく思います。

1 会員増強の将来について

クラブ運営に必要な財源また事業活動や委員会構成に必要な人材確保として、会員の増減はロータリークラブ存続の根幹に匹敵します。増強なくして大東ロータリークラブの未来はありません。

いかにして会員増強をするか、緊急の課題であります。但しロータリアンとしてふさわしい人材でなければなりません。単なる増強だけでありませんので非常に難しい問題でもあります。当クラブには会員増強委員会がありますが、1委員会だけでは遂行出来ません。

全会員が一つとなり会員増強プロジェクトメンバーとして会長を委員長として行動を起こして行こうではありませんか。そこで会員諸兄には有効な方策のお力を頂きたく存じます。会員増強は根気・情熱・そしてアイサーブです。

2 委員会活動及び委員会構成の将来について

委員会はクラブ奉仕・ロータリー情報委員会に所属するクラブ内事業の委員会と職業奉仕・社会奉仕

国際奉仕・青少年奉仕委員会など代表される対外的な委員会があります。皆様方はよくご存知かと思えます。当クラブの現在の委員会活動状況におきましては会員数の減少により財源不足・ニコニコ会計の目標金額達成継続問題・人員不足などが要因で将来が危惧されています。対外的な委員会の中では発足当時の事業目的の状況変化により継続事業の見直し・中止・新規事業についての検案がでております。その他昨年より特別委員会のFVP委員会も始まりました。場合によれば各委員会の内容検討また委員会の併合などで委員会の数を減らす検討の余地はあるかと思えます。但し費用対効果のみを重視しますと本来のロータリーとしての事業より費用ばかり注目されがちになります。また地区や財団など上納金・寄付金に対しても今後再考しなければならないとかと考えます。此の事に関しましても、現状のままで良いか、改善すべきかご検討お願いします。

クラブとしてこれからの各委員会がどの様な方向で進むべきか御意見を頂きたく存じます。





3 理事・役員構成の将来について

現状では当クラブでは、会長・会長エレクト・副会長・幹事の就任はロースタ記載による順番が慣例であります。定款及び細則には記載されておられません。副会長の就任は2009～2010年度までは、幹事終了後翌年に副会長就任ではありませんでした。ロータリー情報委員長を経てクラブ奉仕委員長終了後就任するのが慣例でありました。また2012～2013年度より会長エレクト・副会長・クラブ奉仕・ロータリー情報委員長を兼任する状況にいたりました。次年度もこの構成でクラブ運営を予定されております。この様な状況で会長エレクトが病気や諸般の事情で会長就任が困難になれば、委員会構成に多大なる影響がおよびます。ロータリーの規約では、前任がその職務に就くとされておりますが、4役兼任は非常に危険を伴います。現状では会員数が40名であります、過去の会員数70名の時代ではありませんので、その時代の状況で今後進めてまいりますと理事・役員・委員会構成は停滞の一途になり、長期的に考えますと、状況に応じた柔軟な対応を講じなければなりません。またこのまま会員増強もされなければ危機が必ずくるかと考えます。次年度の理事・役員構成は決定されておりますのでこのまま全員の協力の下に進んでまいります。次次年度より元の正常な構成に戻していただきたいと思っております。役員構成の編成方法に1部変更を加えていただければ正常に戻るかと思っております。越権行為で誠に失礼とは思いますが次次年度会長予定者をお願い申し上げます。もう直ぐに当クラブは50周年を迎えますので、その為にも諸先輩の御理解をお願いします。尚今後、当該年度会長・幹事予定者より会員各位に各役職就任の依頼がありましたら、奉仕の精神・ロータリーの友情の下にお受け戴きます様に心よりお願いします。

尚、諸般の都合でどうしても就任要請を受けられない場合は、会長・幹事予定者に理由を書面で説明する事をお願いします。口答では会員相互の誤解を招く恐れが生じますので理解を得る為には有効かと思っております。但し、個人情報重視の内容の時は会長・幹事予定者に一任とします。

4 今後の委員長・役員就任選任について

現在40名の会員数です。今後各委員長・委員就任にも40歳代・50歳代の会員の負担が大きくなり過ぎになります。クラブ若返り・活性化の為にも会長経験者そして60歳・70歳・80歳代の会員諸兄にも委員長就任をお願いします。素晴らしい経験もあり卓越された指導力をクラブ運営・後進教育の為、お力添え宜しくお





願います。安倍首相も1期目の経験を活かして2期目では、日本国を再生途上に導かれました。諸先輩諸兄の経験・指導力で大東ロータリークラブに活力を与えていただきます様をお願いします。例えば大川大先輩にはシンギング委員長などいかがでしょうか。かくなる私も直前会長終了後は親睦活動委員会でも各奉仕委員会でも微力ではありますが、2回目でありますので経験をお役に立てられるかと思いますので就任要請があればお受けする所存です。

5 今後の財政について

前項でもお伝えさせていただきましたが、会員減少の為クラブ財政は非常に厳しい状況であります。

予算を抑えるべき事項は抑え、必要な事項は仕方ありませんが、必要最小限での予算であります。

此の事を打破する為にも、ロータリー全体を見直す時期にきております。ロータリーとして残す事は残さなければなりません。事業を見直し、各記念日祝費の検討・中止、委員会併合の検討、地区上納金の検討など沢山の検討事項があります。何回も申し上げますが70名から40名に会員の減少が大きな原因であります。しかし体制にも原因はあります。変動の対応があまりにも怠慢であった事です。設立当時は24名でした。最後には設立当時の予算編成を参考にする事も一案かと思います。

これから大変かと危惧しますが、現状に合わせた予算編成をお願いします。会員のご理解をお願いします。

以上、此れからの大東ロータリークラブの中長期ビジョンと現状打破についてお時間をいただきました。

お礼申し上げます。熱い気持ちで充実したロータリークラブ活動を満喫したい会員になり代わりまして卓話させていただきました。拙い文章ですので思いを全てお伝え出来ないかと思っておりますがお許しください。

この様な内容では、大東ロータリークラブ中長期ビジョンと現状打破と大きな課題には及びませんが、ロータリースピリットは人生の指針であります。これからも会員の皆様方のご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。





グローバル補助金奨学生宮尾 真梨子さんより、近況報告が届いておりますので載せさせていただきます。

大東ロータリークラブ 御中

平素よりお世話になっております。グローバル補助金奨学生の宮尾です。

大変ご無沙汰いたしてしまい、申し訳ございません。

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、先日無事、モントレイ国際大学院の修士課程 1 年目を終えることができました。また同時に、奨学生としての期間を終了いたしましたので、ご報告させていただきます。

2 セメスター目はセミナーなどさらに専門的な授業も増え、インテンシブなセメスターになりましたが、周りの助けもあり無事、終えることができました。

中でも、サイバーセキュリティに関する授業では、アメリカでこの分野における最前線で活躍される方を講師としてお招きしての授業で、とても興味深く、たくさんの情報と知識を得ることができました。平和的利用以外に転用される恐れが十分にある原子力分野においても、近年、サイバーテロ、またそれに対する危機管理の重要性が大いに唱えられています。こちらでは、危機管理分野、コンプライアンス分野において取得できる資格があるので、それを目指そうと思ひ、ただいま新たな目標に向かい勉強に励んでいるところです。(なかなか難しい内容なので時間がかかりそうですが、、、)

生活面においては、大きな事故や問題もなく、平穏に 1 年間を過ごすことができました。同時に、アメリカの雄大さを肌で感じる機会もたくさん得ることができました。

もっとも印象的だったのは、モントレイから車で 4 時間ほど走ったところにある、世界遺産でもあるヨセミテ国立公園です。”ハーフドーム”と呼ばれる大きな一枚岩の山であったり、”セコイア”という世界最大種の木であったり、自然の豊かさと力強さに触れることができました。都市的な美しさを片目に、少し車を走らせれば神秘的で雄大な自然が依然として存在するアメリカの大きさにただただ関心していました。

また、こちらのロータリーのディストリクト ミーティングにてプレゼンをさせていただいたり、スポンサークラブだけでなく、いくつかのロータリークラブにもお招き頂きお話をさせていただく機会も得ることができました。大変貴重な機会であったと、感謝しております。

多くの経験、人脈、機会をいただき、またこれほどまでに充実した日々を送ることができていることは、ひとえに大東ロータリークラブをはじめ、国際ロータリー2660 地区の方々のご支援とご尽力のおかげです。本当にありがとうございます。今学年度でグローバル補助金奨学生は卒業いたしますが、今後は卒業生として貢献することができるよう邁進していきたいと思ひます。

ぜひこの夏休み期間に帰国し、皆様に直接ご挨拶したいのですが、夏休み期間はこちらに残り、次のセメスターの準備と資格取得に向けた勉強を行う予定です。帰国は年末を予定しております。その際にはぜひ皆様にお会いできればと思います。

奨学生期間は終了いたしますが、まだまだ卒業まではありますので、また折に触れご連絡させていただきます。

どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。

宮尾 真梨子

